

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17093
課題名	NICU 退院後 1 ヶ月の母乳育児の継続に関わる要因の検討
研究期間	西暦 2017 年 9 月 日 ~ 2017 年 12 月 2 日
研究の対象	2015 年 4 月～2017 年 3 月までの間に旭川医科大学病院 NICU に入院し、入院期間 1～3 か月の患者さんのうち、退院時に母乳だけの栄養だった患者さん（母乳の瓶哺乳、経管栄養を含む）28 名とその母親を対象とします。患者さんは院内出生、単胎に限り、重篤な先天性疾患がある児、および転院した児を除外します。
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：看護記録、診察記事、部門記録、外来受診記録、データベース等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	<p>旭川医科大学病院では母乳育児を推進しており、NICU でも母乳育児を支援しています。母乳育児を継続できる人とできない人は、必ずしも子どもの疾患、体重や出生時期にかかわらず。私たちは、子どもの要因だけではなく、母親やその環境要因が直接授乳の継続へ影響を与えているのではないかと考えました。</p> <p>本研究では、NICU 退院時には母乳育児であったが、退院後 1 ヶ月に母乳育児を継続できなかった事例と継続できた事例を比較検討し、母乳育児の継続に関わる要因について明らかにすることを目的とします。本研究によって、入院中からのよりよい母乳育児支援につなげていきます。</p>
研究の方法	診療記録から、退院後 1 か月時点で母乳栄養を継続できた群とできなかった群の 2 群に分け、統計的に比較します。
その他	
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号 所属：旭川医科大学病院 NICU ナースステーション 研究責任者：中山晴香 電話：0166-69-3730</p>